

台湾電力公司との技術交流



エネルギー総合研究所 総括担当 梶本 和宏

1 概要

平成25年4月16日～19日に、台湾電力会社の副総経理事務室副総経理の林宏遠氏を団長とする計5名の視察団が、技術交流のため当社を訪問した。18日にはエネルギー総合研究所を視察し、実験設備や研究成果および現在の取り組み等について、平野所長をはじめとする研究所社員と意見交換した。

2 視察内容

【設備】

- ・平面水槽・多方向不規則造波装置
(幅21m, 長さ35m, 深さ1.5m)
- ・雷インパルス発生装置
発生電圧3,000kVと900kV

【研究開発成果】

- ・付着生物幼生特異センサー
発電所取水路に付着するムラサキガイなどの幼生の流入状況を簡便迅速に検出
- ・屋上緑化システム
屋根への荷重負担が少ない養液循環式水耕栽培
- ・高精度の位置・方向検知システム
屋内でも高精度に携帯端末の位置を検出可能
- ・電気自動車用急速充電器
高圧契約用, 低圧契約用に対応した急速充電器
- ・含水性バイオマスの高温高压ガス化技術
- ・ジャトロファ種子を利用したバイオマス発電技術



写真2 雷インパルス発生装置



写真3 屋上緑化システム



写真1 水理実験棟



写真4 高精度の位置・方向検知システム